

第7回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事録

開催日時	2025年7月9日（水） 9：30～10：30	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 ランチルーム（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	森委員、金井委員、池田委員、土肥委員、君塚委員、吉川委員、夏目委員、 廣田委員、市川委員、◎鰐坂委員、○安部委員、秋場委員 （◎会長、○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、 指導課、教育センター
傍聴者	1名	

議事内容（敬称略）

はじめに【学校教育部長挨拶】

学校教育部長 本日は、お忙しい中、鶴川東地区新たな学校づくり基本計画推進協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

2024年2月に、鶴川東地区は統合スケジュールについて見直しをさせていただき、新たな統合時期は2029年となった。来年、2026年4月には、鶴川中央小学校が先行して開校するので、先行している地区を参考としながら、当地区の準備も進めさせていただきたいと考えている。

今後とも、町田の未来の子どもたちによりよい教育環境をつくっていくため、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げてご挨拶とさせていただきます。

1 新たな学校づくり基本計画推進協議会について

新たな学校推進課 （資料1－1説明）
 （資料1－2委員委嘱・委員自己紹介）
 （会長・副会長の選任）
 （資料1－3説明）

2 第6回推進協議会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料2説明）

3 報告事項

（1）推進協議会における今年度の進め方について

新たな学校推進課 （資料3－1－1、3－1－2、3－1－3説明）

委員 鶴二小PTAでは、昨年度、規約を改定し、活動の目的に修正が入っている。今回、基本計画の中にも鶴二小PTAの活動目的が入っているので、そちらを更新してほしい。

それから、能ヶ谷五丁目付近の保護者の方から、遠距離の通学に関して心配の声を複数いただいている。そちらの保護者からは、通学距離が伸びることに加えて、下校時に熱中症等の危険にも配慮してほしいという意見があった。

また、必ずしも通常学級に通っているお子さんばかりではないというところにも十分配慮していただきたい。

鶴二小地区には子ども会があるが、子ども会にはPTAから活動のお金を支援していて、事実上PTAと子ども会は一体となって活動している。鶴二小のPTAは閉校と同時に解体となるため、子ども会の意向を先日確認したところ、子ども会についても同時に解体していきたいという意向だった。一部の子ども会については、変更前の統合スケジュールに合わせて残余財産の整理などを進めていたため、閉校前に子ども会を閉じるところもある。今後の地域団体との関わりについても、町田市の支援をいただきたい。

また、学童と「まちとも」について、例えばバス停まで送っていくとか、学童保育や「まちとも」での業務で増えることがあれば、その分の人の手当てというのを学童保育と「まちとも」に十分入れていただくようお願いしたい。

学校施設の活用については、セキュリティー面や安全面についてしっかり取り組んでいただきたいというのと、2025年度の他校での取り組み事例についても紹介いただきたい。

新たな学校推進課 PTAの規約が変わった事については、その内容を反映させたい。

通学については、暑くなる、距離が遠くなる等、色々なご意見を、12月の協議会で行う通学ワークショップなどで、何ができるかということを皆さんと考えていきたい。あわせて、先行して統合している地区や来年度に統合する鶴川中央小でいただく意見を踏まえ、皆さんと議論しながら対応を考えていきたい。

特別支援学級についても同様に、個別にご相談をしながら、通学方法等、できる配慮を考えていきたい。

また、様々な関係団体との関わりがあると思うので、適宜、市でもできることはやらせていただく。

学童保育と「まちとも」については、統合に際して業務が増えるようなことがあれば、所管の部署にご意見があった旨を伝えさせていただく。

委員

学校名は「鶴川東小学校」というのが教育委員会の案だが、実際に統合後の学校に通うことになる在校児童や保護者、あるいは今の地域の方々のご意見というところを反映して対応してほしい。

新たな学校推進課 町田市教育委員会では統合新設校の学校名の選定基準というのを定めており、基本的な方針が3つある。1つ目が「地名を大切にすること」、2つ目が「難しい漢字は使わずに読みやすく分かりやすいものとする」と、3つ目が「長い学校名とならないようにすること」である。

学校名の選定方法についても定めており、まず、アンケートの実施を必須としている。こちらは、統合対象校の児童・生徒や保護者、教職員、また地域にお住いの未就学児の保護者等を対象に学校名のアンケートを実施している。

鶴川東地区については、2022年の5月から6月にかけてアンケートを実施し、約400件のアイデアが集まった。この学校名のアイデアをもとに、現在の協議会と同

様の保護者や地域、教職員の代表等が集まる基本計画検討会で話し合い、学校名を3案に絞っている。その結果を2022年10月から12月にかけて2か月間広報し、いただいた意見を教育委員会の会議で報告をした。

学校名の3案のうちの1つが「鶴川東小学校」であり、そのほか「鶴川坂の上小学校」、「鶴川みどり小学校」であった。この中から教育委員会案として「鶴川東小学校」を選定している。

今後も事務局としても学校名は「鶴川東小学校」を考えており、これから鶴川東地区の新しい校歌や校章を制作していく。校歌・校章の制作にあたっては、在学されている子どもたちの意見もしっかり尊重しながら一緒につくっていきたいと考えている。

委員 P T Aの役員会でも相談をしたが、2022年度のアンケートということでは、統合後の小学校に通う子どもは、在校していないことになる。プロセスについて規定があることは十分理解したが、在校している子どもや保護者の意見を酌む方法がないかというところを再度検討してほしい。

新たな学校推進課 当時、学校名の意見募集を実施し、基本計画検討会で熟議して、出てきた3案の中から、現状の教育委員会案とさせていただいている。

確かに統合時の在校生の意見は入っていない部分もあるが、当時から、この統合に向けて鶴川東地区は、地域の皆様も含めて真剣にご意見・議論をいただきながら進めてきたので、学校名に限って改めて再検討する考えはない。

ただ一方で、これから通ってくる子どもたちのことを考えて、様々な取組や意見を反映させなければいけない部分は沢山あると思う。例えば校歌・校章の制作や、児童の事前交流の方法などはこれから実施していく。そういう部分で、子どもたちの意見、今の子どもたちの声を聴いてほしいということで受け止めさせていただきたい。

委員 分かりました。ありがとうございます。

（２）鶴川中央小学校（鶴川西地区）の開校に向けた進捗状況について

新たな学校推進課 （資料３－２説明）

（３）町田市 新たな学校づくり推進計画」の一部修正について

新たな学校推進課 （資料３－３説明）

委員 今年度から委員になられた方も多いかと思うので、前回の協議会の振り返りのところで、例えば新しい学校の設計の進捗状況など共有していただけないか。

新たな学校推進課 今後も、協議会を続けていく中で、校舎の設計の件も含めて報告をさせていただこうと思っている。

委員 擁壁に問題があるということだが、実際に擁壁を見たことがないので、１度現場を見てみたいと思うが、ご案内いただけないか。

新たな学校推進課 本日は施設課の職員もいるので、協議会后、ご覧になりたい方は一緒に現場を見ていただこうと思う。

委員

私は町内会長をやっているが、先日通学路の件で、協議会で決まっているところに、住民からの意見で変更するということがあった。こちらで通学路を検討しても、地域住民の声を反映していない状態で進めると、結局、反対意見ということがちょくちょく出ている。

そういったことを考えると、協議会で通学路を検証するということはやるが、結局は地域住民も巻き込んでやる必要があるので、丁寧に進めてほしい。私たちはその後の調整状況を知る機会がないというのも、いかがなものかなと思っている。

新たな学校推進課 通学路の検討を机上でやって、お住まいの方としては反対ということがないように進めたい。いただいたご意見は学務課にも伝えるが、通学路案として良いかというところは、現場としても丁寧に進めさせていただく。

今回、こちらの協議会の中で、地域の方としてはこういう意見も上がりそうだななどのご意見もいただきながら、通学路案をつくっていききたいと思う。引き続きご意見をいただきながら、今年度進めさせていただきたい。

会長（閉会の挨拶）